

授業科目	＊看護研究の基礎					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	必修	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	財津 倫子、眞崎 直子、吉原 悦子						
授業概要	研究を行うためのプロセスを学び、文献のクリティークを実施し、研究目的にあった研究デザインを選び、研究計画を立て、調査実践まで行うことができる。 興味・関心のある事柄について基礎的事項や関連事項の情報収集と整理を繰り返し、リサーチクエスションの焦点化によって、看護実践での現象や実態を明らかにする研究力の修得を目指す。 文献クリティーク、量的データの集計、質的データの集計、調査票の作成、研究テーマの選定、研究計画書、研究説明文書・同意文書、抄録作成の課題に取り組む。 以上のことについて、実務家教員として保健師・看護師経験および看護研究の実務経験を有する教員が教授する。						
授業形態	対面授業				授業方法	講義、演習、プレゼンテーション	
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	理想的なレベルには達しないものの、興味・関心のある事柄について、情報収集と整理を繰り返し、深く理解することを体験できる。得られた情報を看護や学修場面で想起することができ、リサーチクエスションの焦点化から、研究方法の選定ができる。 1. 文献クリティークを作成できる（DP1-2, DP2-1） 2. 尺度の活用や回答様式を検討し、質問紙を作成できる（DP1-2, DP2-1） 3. 指定された質的データの内容分析を行い、結果を示すことができる（DP1-2, DP2-1, DP4-3） 4. 研究計画書を作成（テーマに関する背景・目的・対象・方法・倫理的配慮の記述）できる（DP1-2, DP2-1, DP4-3） 5. 研究説明依頼書・同意書・同意撤回書が作成できる（DP1-2, DP4-3） 6. 研究計画、研究目的にあった質問票を作成できる（DP2-1, DP4-3） 7. 学生を対象とした質問紙調査を実施し、結果を集計することができる（DP2-1, 4-3） 8. 調査結果について考察し、抄録を作成できる（DP1-2, DP2-1, 4-3） 9. 研究成果をプレゼンテーションできる（DP1-2, DP2-1, 4-3）						
理想的レベル	情報収集と整理を繰り返し、自身の興味・関心のある事柄を見出すことができる。見出した研究テーマについて網羅的に収集した情報から合理的かつ客観的に資料を選定し、深い理解に到達することができる。集めた情報を整理し、看護の実践や学修に活用することができる。研究テーマについてリサーチクエスションを焦点化し、研究の基礎的事項を踏まえ、実態や新たな知見を得るための合理的な研究方法を策定することができる。調査で得られたデータを適切に処理し、結果を集計し、結果を要約して示すことができる。結果の解釈と文献的に多様な視点から考察し、リサーチクエスションに応じた意見提示をすることができる。						
評価方法・評価割合							
評価方法			評価割合（数値）			備考	
試験			0				
小テスト			0				
レポート			12%			文献クリティーク	
発表（口頭、プレゼンテーション）			12%			研究発表	

	ブワーク) 担当：眞崎直子（財津倫子，吉原悦子）
第 10 回	10. 研究計画書の作成②【講義と演習】 8 章、11 章 研究背景、研究目的、研究方法、研究デザインについて（グループワーク） 担当：眞崎直子（財津倫子，吉原悦子）
第 11 回	11. 研究計画書の作成③【演習】 8 章、11 章 調査の対象、調査項目、結果の集計について（グループワーク） 担当：眞崎直子（財津倫子，吉原悦子）
第 12 回	12. 研究計画書の作成④【講義と演習】 6 章、8 章 質問票・研究説明文書・同意文書・同意撤回書の作成（グループワーク） 担当：吉原悦子（財津倫子，眞崎直子）
第 13 回	13. 調査の実施【演習】 4 章、6 章、7 章 研究説明と同意、調査の実施、回答、データ入力、データ集計 担当：吉原悦子（財津倫子，眞崎直子）
第 14 回	14. 研究成果のまとめ方【演習】 9 章 論文作成、研究背景、調査方法、調査結果、考察、抄録作成、プレゼンテーション資料の作成（グループワーク） 担当：財津倫子（吉原悦子，眞崎直子）
第 15 回	15. 研究成果の発表【演習】 9 章 パワーポイントプレゼンテーション 担当：財津倫子（吉原悦子，眞崎直子）
テキスト	・系統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・研究課題、リサーチクエスションに関連ある事柄の意図的な情報収集、定期的な情報検索の仕組みを自分なりに持ちましょう ・データベース、文献検索以外にも、看護医療系雑誌、SNS、Web サイトなどの情報に努めて触れてください
課題に対するフィードバックの方法	・別途示す評価表に基づいて評価します ・提出前に評価を確認しましょう
学生へのメッセージ・コメント	これまでの看護専門科目の学修の中で、自身が興味・関心を強く持った事柄で、さらに調べてみたい、深く知りたいと感じたことを振り返ってみてください。継続的に取り組むことで充実感を得られるような研究テーマを見つけましょう。 疑問に思ったこと、知りたいことを調べる方法を実践的に学ぶ科目です。適切な研究により正しい結果が得られ、質の高い看護の提供につながります。研究知識は、看護に限らずあらゆる人の活動や思考の基盤をなし、将来にわたって欠かせないスキルであることを意識しましょう。

